

NO.
25



岩田 とも子

県議会レポート



発行所 / 〒861-2103 熊本市東区若葉5丁目8-14
連絡先 / 立憲民主連合 TEL:096-333-2644
FAX:096-387-5223
E-mail : tomokorin.berurin@icloud.com
HP : <http://www.webrun2.jp/tomo-tomo55/>

政治分野で女性参画率の
低さが突出している日本。
有権者の投票行動が
大きな推進力になります。



女性の政治参加について考えよう!

熊本県議会の定数は49人ですが、現在1人欠員で現員48人です。しかし、女性議員は私を含め僅か2人。男性96%女性4%の割合です。熊本県の人口は、6月1日現在で172万7539人(男性81万7010人、女性91万529人)で男性47%、女性53%の比率です。議員は県民の代表者であることを考えると、議員の女性参画率は全くありえない数値です。

女性参画率は、衆議院では9.9%、参議院では22.9%、地方議会は14.5%。九州7県議会では10.7%で、熊本県議会がいかに低いかがわかります。日本のジェンダーギャップ指数(経済参画・教育の到達度・健康・政治参画の分野で男女不平等の度合いを指数化したもの)は世界156カ国中120位と低迷していますが、特に政治分野での低さが突出しています。

女性議員の多い国も昔からそうだったのではな

く、何らかの取り組みがあって進んできました。例えばフランスはパリテ法(選挙の候補者を男女同数にする法律)が2000年に成立し、大きく変わりました。スウェーデンは1970年ごろからクオータ制、男女交互の立候補名簿にしたり、候補名簿の50%は女性にしたりなどの決まりを作って変わってきたのです。

日本も「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が2018年に施行されましたが数値目標などなく、進めていこうというもので、なかなか進んでいません。一方、7月4日に投開票された東京都議選で、女性の当選者は41人となり、女性参画率は32%となりました。やはり、有権者の投票行動が大きな推進力になります。

私はこれまで以上に女性参画率をあげる活動をしていきます。

ご挨拶

毎年のこととはいえ熊本特有の蒸し暑い夏が続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。

熊本県における新型コロナウイルス感染症対応では、6月13日蔓延防止等重点措置が解かれ、6月28日から飲食店への制限も無くなりました。ワクチン接種についても徐々に進んでいる状況です。制限によって経済的な影響を受けた事業者の方々への支援も迅速に行われているでしょうか。経済的だけではなく、精神的にも本当に辛い時期でした。

また、人吉球磨及び葦北地域を中心とした豪雨災害から1年が経ちます。改めて、亡くなられた方のご冥福をお祈りすると共に、被災されたの方々へお見舞い申し上げます。この5月までで球磨川の堆積土砂の撤去は済んだそうですが、もともと川底が上がっていて、地域の方々からは大丈夫なのかという声も聞かれます。山の皆伐による土砂崩れなども心配です。気候変動は大雨ばかりでなく、干ばつの心配もあるということです。防災意識をしっかりと持ち続けることが必要です。

6月定例議会報告

4月に女性部長（早田健康福祉部長）が1人誕生し、議場には議員、執行部で女性が3人となりました。6月定例議会は6月14日から7月5日まで開かれました。この中で、県民の関心も高い空港アクセス鉄道の調査結果が明らかになりました。

新たな調査結果は、これまで示してきた4ルート案のうち、国道57号沿線の市街地を地下トンネルで通過し、県民総合運動公園付近に中間駅を設置する最短ルートに絞って試算されました。全長は8.8～9.0キロ。所要時間は三里木駅－中間駅が4.2分、中間駅－空港駅が5分、豊肥線を乗り継いだ熊本駅－空港駅を39分と見込まれました。

トンネル工法の見直しなどで、総事業費は前回調

査から24億円少ない235億円（税別）。採算性はJRから総事業費の1/3、国から1/3の負担があれば開業後33年で累積資金収支は黒字化し、「1」を上回ることが事業化のめやすとなる費用対効果（B/C）は30年で1.04に、50年で1.22となるとの結果でした。国の18%補助だけの現行の補助では黒字は見込めません。

また、県と熊本市と連携して今後20年から30年の広域的な「熊本県新広域道路計画」の策定に取り組むことも明らかになりました。蒲島知事は「熊本都市圏の渋滞緩和を図るとともに、熊本の地理的優位性を発揮するもの」と説明していますが、鉄道に道路・・・財源はあるのか不安です。

一般質問は、立憲民主連合からの鎌田議員と西議員の2名を含め10人が登壇しました。最も気になったことは球磨川の新たな流水ダムの環境アセスメントのことで、自民党議員は環境アセスメントでダム整備が遅れることのないように訴えましたが、私は法に則った環境アセスメント調査を行うべきだと思っています。知事は「このアセスメントを法と同様なものと考え、命と環境を守っていき、早期整備を」と答えました。

教育問題についてもいくつか出されました。県立八代中高のバカロレア認定（国際バカロレアは、1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログ

ラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置）を目指すということです。必要なのでしょうか。

県教委の新型コロナウイルス感染症に係る不安や悩み等の調査（小中高特別支援学校生徒11万人の回答）では、コロナ禍で25%の子どもたちが不安を感じています。今、優先すべきは子どもたちの心のケアです。

可決されたもの

- 一般会計予算は、新型コロナウイルス感染症対策や豪雨災害関連事業など、101億円の増額補正となり、予算総額は9051億円となりました。
- 国への意見書は次の通りです。

採択された意見書

- 地方財政の充実・強化を求める意見書（自民・立憲民主連合・公明合同提案）
- 国土強靱化対策の予算の確保を求める意見書（自民・公明）
- マイナンバーカードの普及とマイナンバーの利活用の促進を求める意見書（自民・公明）
- 台湾の世界保健機関（WHO）年次総会へのオブザーバー参加を求める意見書（自民・立憲民主連合・公明）
- 地方消費者行政に対する財政支援の継続・拡充を求める意見書（請願）
- 夫婦・親子同氏を維持し、旧姓の通称使用の拡充を求める意見書（請願）

※選択的夫婦別姓制度を求めているというのに、それに逆行する意見書が自民党の賛成で採択されました。

3月議会で私が選択的夫婦別姓制度について推進の説明をただけに大変残念でした。



岩田とも子の 政治活動



5月5日 zoomオンラインでの県政報告会を開催しました。ゲストに同級生の前田淳子さん(楠にある前田クリニック院長)にコロナ禍での医療の現場のお話をいただきました。



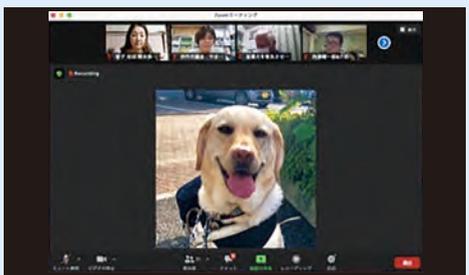
旅のよろこび社が企画した坂本町ツアーに参加しました。被災された住民の方々にお話を聞きました。また、肥薩線の坂本駅、跡形もなく流された瀬戸石駅現場に行き、改めて水害の凄まじさを感じました。瀬戸石ダムや皆伐された山の現状も見ることができました。現場に行き、そこにくらす人たちの声を聞くことからは課題は見えてきません。



熊本県教組の定期大会、県下各支部の定期総会に出席し、学校現場の先生方に、コロナ禍での子どもたちの状況やICT教育の現状、働き方改革の進み具合などたくさんの声をお聞きすることができました。政策提言に活かしていきます。



6月23日沖縄慰霊の日、沖縄戦で旧日本軍の組織的な戦闘が終わった日から76年。沖縄タイムスとヤフーの共同アンケートでは75%の人がこの沖縄慰霊の日を知らないと答えています。継承していかなければと思います。「忘れるな ほんとうにあったのだ」と中学2年生の上原さんは平和の詩で訴えました。私も2度と戦争があってはならぬとビブレス前で訴えました。



zoomで補助犬トイレを考える勉強会に参加しました。補助犬普及を阻むものと補助犬トイレの問題について当事者からのお話を伺い、全国の地方議員の皆さんと共有することができました。障害者差別解消法が施行されて、合理的配慮提供義務が明文化されているのに、今でも補助犬の同伴を拒否する施設や店なども多いという課題があります。熊本の現状も調査していきます。



水俣市や芦北町などの境界山間部に大規模な風力発電建設計画があります。計画予定地の2km圏内に726棟もの住宅や学校、福祉施設があります。健康被害の心配と共に、急傾斜地特別警戒区域、土砂災害特別警戒区域も多いこともあります。7月13日県知事に発電施設の白紙撤回を求める市民団体の方々の要望書と署名4540筆の提出に同席しました。地球温暖化防止対策としての再生可能エネルギーは考えていくべきですが、そこに住む方々の暮らしや仕事、自然環境を壊すことになってはいけません。